

授業科目(ナンバリング)	英語科教育法Ⅱ (QB222)	担当教員 担当形態	田中 誠 単独						
教員免許状取得のための選択の別	①英語(中)：必修 ②英語(高)：選択	単位数	2単位	開講年次	2年	展開方法	講義	開設時期	前期
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目(中学校及び高等学校 英語)								
各科目に含めることが必要な事項	各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)								
授 業 の ね ら い									アクティブ ラーニング の 類 型
3つの資質・能力を踏まえた「5つの領域」(「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」及び「書くこと」)の指導及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法の指導について基本的な知識と技能を身に付けるとともに、複数の領域を統合した言語活動の指導方法を身に付ける。また、生徒の特性や習熟度に応じた指導について理解する。									①⑤
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法		評価比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> ・聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの指導について理解し、授業指導に生かすことができる。 ・複数の領域を統合した言語活動の指導について理解し、授業指導に生かすことができる。 ・英語の音声的な特徴、文字、語彙・表現、文法に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業＋英語運用能力 ・レポート 		30%	20%
情報収集、分析力	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の授業のポイントを簡潔にまとめることができる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の課題 		10%	
コミュニケーション力	<ul style="list-style-type: none"> ・英語のインタラクションについて理解し、授業指導に生かすことができる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業＋英語運用能力 		10%	
協働・課題解決力	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で取り上げられた課題について、共に考え、解決策の案を出すことができる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・受講者の発表 		10%	
多様性理解力	<ul style="list-style-type: none"> ・異文化理解に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。 ・生徒の特性・習熟度への対応について理解し、授業指導に生かすことができる。 					<ul style="list-style-type: none"> ・模擬授業＋英語運用能力 ・レポート 		10%	10%
出 席						受験要件			
合 計						100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明									
毎回の課題は、授業後に manaba(ポートフォリオ)に授業のまとめを提出。学期末に「授業に活かす英語学習方法」に関するレポートを提出。レポートに対しては、改善のフィードバックを mamaba 上で行う。また授業中の発言内容や授業への取り組みを評価する。「模擬授業＋英語運用能力」と記載しているのは、英語を使用して授業を行ってもらいたいからである。従って、この授業終了までに英検準 2 級レベルの英語運用能力のない学生は、再履修となるので注意すること。									
授 業 の 概 要									
講義を中心とするが、学習指導案の作成・模擬授業・討論など演習形式の授業内容も取り入れる。また、ビデオ教材なども取り入れ、具体的な指導方法を分かりやすく学んでいく。Ⅱでは、基本的な授業における知識と技能の習得に重点をおいて講義をするが、模擬授業を通して、理論と実践を学んでいく。原則として、英語科教育法Ⅰの単位取得者のみが、Ⅱに進むことができるので注意すること。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。									
教 科 書 ・ 参 考 書									
教科書：『はじめてのオールイングリッシュ授業』 又野陽子 (明治図書) New Horizon 2 (中学2年生用の英語教科書) (東京書籍) Crown English Communication II (高校2年生用英語教科書) (三省堂) 「学習指導要領」は文部科学省のHPを使用。 参考書：文部科学省『中学校学習指導要領』『中学校学習指導要領解説 外国語編』、 文部科学省『高等学校学習指導要領』『高等学校学習指導要領解説 外国語編』 指定図書：『英語はもっと科学的に学習しよう』 白井恭弘 (中経出版)									

授業外における学修及び学生に期待すること			
授業だけでは、教師に必要な知識や技能を全て習得することは難しいので、授業中に指示する参考図書などを積極的に読んでくれることを期待する。「教えることは、学ぶことである」ということを理解して欲しい。			
回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション	本講義の意義を理解する。テキストの内容、授業の進め方、授業外学修の方法などについて、再確認をする。教員免許を取得する意義などについてもIに続き再確認する。『学習指導要領』の復習。	『学習指導要領』を再度読む。講義の振り返りをmanabaにまとめる。
2	口頭練習 文法の指導	イラスト、ジェスチャーなどを効果的に使用し、テンポの良い口頭練習と文法指導の方法を学ぶ。教室英語を学ぶ。	文法のような指導法を調べる。講義の振り返りをmanabaにまとめる。
3	文字・語彙指導 音声指導	リズムによって語句を覚える。文字、語彙・表現指導、机間指導。語彙指導の際のICTの活用、音声指導。辞書指導。教室英語を学ぶ。	様々な語彙の指導法を調べる。講義の振り返りをmanabaにまとめる。
4	「聞くこと」の指導(初級編)	「聞くこと」の指導方法について学ぶ(初級編)。音声、語彙・表現の指導。教室英語を学ぶ。	「聞くこと」の効果的な指導法を調べる。講義の振り返りをmanabaに。
5	「読むこと」の指導法(初級編)	「読むこと」の指導方法について学ぶ(初級編)。文字、語彙・表現、文法の指導。教室英語を学ぶ。	「読むこと」の効果的な指導法を調べる。講義の振り返りをmanabaに。
6	「話すこと[やり取り]」の指導(初級編)	「話すこと[やり取り]」の指導方法について学ぶ(初級編)。音声、語彙・表現、文法の指導。パフォーマンス評価について(1)。教室英語を学ぶ。	「話すこと[やり取り]」の効果的な指導法を調べる。講義の振り返りをmanabaに。
7	「話すこと[発表]」の指導(初級編)	「話すこと[発表]」の指導方法について学ぶ(初級編)。音声、語彙・表現、文法の指導。教室英語を学ぶ。	「話すこと[発表]」の効果的な指導法を調べる。講義の振り返りをmanabaに。
8	「書くこと」の指導(初級編)	「書くこと」の指導方法について学ぶ(初級編)。文字、語彙・表現、文法の指導。パフォーマンス評価について(2)。教室英語を学ぶ。	「書くこと」の効果的な指導法を調べる。講義の振り返りをmanabaに。
9	複数の領域を統合した指導法(初級編)	複数の領域を統合した言語活動の指導についても学ぶ(初級編)。音声、文字、語彙・表現、文法の指導。教室英語を学ぶ。	複数の領域を統合した効果的な指導法を調べる。講義の振り返りをmanabaに。
10	授業の組み立て 異文化理解	各指導計画を理解した上で、授業の組み立て方を学ぶ。また、異文化理解に関する内容をどのように授業に組み込むのかについても学ぶ。教室英語を学ぶ。	授業の組み立て方を調べる。講義の振り返りをmanabaにまとめる。
11	生徒の特性・習熟度への対応(初級編) プリント作成	基本的な生徒の特性・習熟度への対応について理解し、授業指導に生かす指導法を学ぶ。また、語彙・表現、文法等を理解するためのプリント作成の方法、教室英語を学ぶ。	生徒の特性・習熟度への対応について調べる。講義の振り返りをmanabaに。
12	実践的な模擬授業(中学2年1学期の内容)	中2の1学期の内容で模擬授業をし、反省会でのディスカッションを通して、問題点を探り、理解を深める。模擬授業の際には、学習指導案、板書計画なども同時に指導を受ける。	中2の1学期の内容の模擬授業の準備をする。生徒役は該当箇所の予習。講義の振り返りをmanabaに。
13	実践的な模擬授業(高校2年2学期の内容)	高2の2学期の内容で模擬授業をし、反省会でのディスカッションを通して、問題点を探り、理解を深める。模擬授業の際には、学習指導案、板書計画なども同時に指導を受ける。	高2の2学期の内容の模擬授業の準備をする。生徒役は該当箇所の予習。講義の振り返りをmanabaに。
14	実践的な模擬授業(中学2年3学期の内容)	中2の3学期の内容で模擬授業をし、反省会でのディスカッションを通して、問題点を探り、理解を深める。模擬授業の際には、学習指導案、板書計画なども同時に指導を受ける。	中2の3学期の内容の模擬授業の準備をする。生徒役は該当箇所の予習。講義の振り返りをmanabaに。
15	教材研究、まとめ	中学校・高等学校の教科書を使用し、教材研究の具体的な方法を学ぶ。ディスカッションを通じて、良い授業について理解を深める。教室英語について。全体のまとめ	担当箇所を読みこむ。講義の振り返りをmanabaにまとめる。